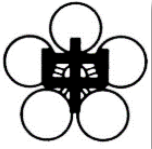


＜校訓＞白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一步前進



# 輝く未来へ

教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

板橋区立加賀中学校  
学校だより  
令和2年度 第 3号  
令和2年 5月8日  
校長 水谷 智子

## 第63期生 入学おめでとう！

4月7日に実施する予定だった入学式が延期になっていましたが、臨時休業期間の延長に伴い中止になりました。入学式を楽しみにしていた新入生の皆さんや保護者の皆様におかれましては、大変残念な決定になってしまい、申し訳ありません。それに替え、紙面にて『東京都板橋区立加賀中学校 第63回入学式』を執り行います。新入生の皆さんは「中学生になった！」という自覚を新たにし、加賀中生の一員として、これからの生活を送ってほしいと思います。入学おめでとう！！

### 『校長式辞』

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年度、本校は158名の新入生を迎えました。新型コロナウイルスの影響により、本校第63回入学式は中止となり、このような形で皆さんにお話をする事になりました。直接、皆さんの顔を見ながら話をする事ができず、残念ではありますが、皆さんをお迎えする嬉しい気持ちに、変わりはありません。教職員、在校生一同、皆さんのご入学を、心から歓迎いたします。

中学校の三年間は、社会の中で自立して生きていくための力をつける三年間です。小学校には、看護当番の先生がいましたね。小学生時代、皆さんはいつも、学校の先生や家族の皆さん、地域の皆さんに見守られていました。しかし、中学校には看護当番の先生はいません。皆さんは、仲間たちとともに、自分たち自身で互いに協力しながら、中学校生活を送っていくのです。

『自主自律』『自主創造』が、加賀中生としてのミッションです。「自分たちで自分たちの生活をコントロールする、創り出す」ということは、「やって良いこと、やってはいけないことを、自分たち自身で考え、どのようにしたら安全に楽しい学校生活が送れるかを考えて、行動していく」ということです。他人にあしなさい、こうなさいと言われて「やらされる生活」でなく、自分の頭で考えて、行動するという事は、とても大変で、時には失敗することもあります。けれども、大変な分、やりがいがあり、充実感のある毎日を過ごせることができるでしょう。この伝統ある加賀中学校で、出逢った仲間たちと共に、新たな自分づくりに励んで下さい。

そこで、中学校生活三年間で、大切にしてほしい三つのCについてお話します。

一つ目のCは「Chance」です。Chance の女神さまには前髪しかないと言われていました。

ぼんやりしては Chance を掴むことはできません。やってみたいことやできたらいいなということを常に心の中に持って準備しておくことが大事です。Chance は色々なところに転がっています。やりたいことをいつも心のなかにもって、Chance を見過ごさないようにアンテナを高く張っていること、そして、最大の Chance は ピンチの時にこそ訪れることを忘れないでください。

二つ目のCは「Challenge」 挑戦することです。せつかく手に入れた Chance を生かせるかどうかは自分次第です。失敗を恐れず、Challenge しましょう。一度でうまくいなくても、修正して もう一度 Challenge する。何度でも Challenge して、最後に成功すれば、失敗ではありません。成功するまで粘り強く Challenge する気持ちを持ち続けましょう。

三つ目のCは「Change」です。Challenge する前の自分と Challenge した後の自分は、変わっているはずですが、変わっていくことを恐れてはいけません。加賀中学校の校訓は、「白梅のにおい豊かに 明るく強く 毎日必ず 一歩前進」です。自分自身が変わること、そして、周りの仲間たちにも働きかけて、より良い学校生活に変えていくこと。そのために、「Change」を合言葉に仲間たちと共に成長していきましょう。

「Chance Challenge Change」 この三つのCを心に刻んで、加賀中学校での生活を楽しく充実したものにしてください。

保護者の皆様、お子様のご入学、心よりお喜び申し上げます。教職員一同、「命を守り、未来を育む」を合言葉に、チーム加賀中一丸となって、教育活動に邁進することをお約束いたします。ご心配なこと、気になることがありましたら、遠慮なく、ご相談下さい。私達教職員は、保護者、地域の皆様、子どもたちの周りにいるすべての大人たちとパートナーシップでつながり、子どもたちの成長応援団として、また、地域コミュニティの中の学校として、その責任を果たせるよう、努めてまいります。

今、世界中が新型コロナウイルスと戦っています。皆さんの船出は嵐の中の船出になりました。しかし、恐れることはありません。朝の来ない夜はない。必ず、このウイルスとの戦いが終わる日はやって来ます。その日の来ることを信じて、希望をもって、毎日の生活を過ごしましょう。

全校生徒が揃って、行事や部活動ができる日が一日も早く来ることを、そして、互いに学び合い高め合う日が来ることを、心から願い、その日に備えて、一人一人が毎日一歩前進していきましょう。新入生の皆さん、加賀中学校の生徒としての誇りと自覚をもって、これからの日々を過ごして下さい。新しい加賀中の仲間たち、共に頑張りましょう。

令和二年五月八日

東京都板橋区立加賀中学校長 水谷 智子

## 『新入生代表 誓いの言葉』

芽吹き出した木々に、春の暖かな日差しが降り注ぐ中、私達加賀中学校新入生158名は、今日、新たな一歩を踏み出しました。今、新しい制服に身を包み、これから始まる中学校生活に期待で胸を大きく膨らませております。

中学校では、学習面でも、生活においても、初めて経験することが多くあります。学習面では、新しい教科も加わり、教科ごとに先生も異なります。定期考査もあり、自分から計画的に学習をすることが必要になります。生活面においては、新しい友達や先輩方との出会いがあり、とても楽しみです。小学校にはなかった様々な学校行事もあります。行事を通して、クラスや学年の絆を深めていきたいです。そして、自分も積極的に参加をして、互いに良い仲間として理解し合いたいです。部活動では、運動部に入り、自分の目標を立て、心身ともに成長していきたいです。

さて現在、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されている中で、私達の生活も大きく影響を受けています。三月に小学校も臨時休校となり、小学校生活に名残惜しさを感じながら、卒業式を迎えました。そして、楽しみにしていた中学校生活が始まるのはもう少し先になりそうです。学校に通うという当たり前の日常生活がとても尊い時間であることを、いま強く感じてなりません。これから新たに始まる中学校での三年間、友達と楽しく、時に切磋琢磨し合いながら、有意義に過ごしていくことを誓います。

最後に、校長先生をはじめ、諸先生方、これからご指導の程、よろしくお願いします。

令和二年五月八日

新入生代表 尾崎 璃莉香

## 『歓迎の言葉』

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

私たち在校生一同は、皆さんが入学してくるのを心待ちにしていました。私たちも経験したことがないスタートになってしまって戸惑いも大きいと思います。それでも、いま皆さんの心は、これから始まる新しい生活への期待と不安で、ドキドキ・ワクワクしていることでしょう。私も二年前は、着慣れない制服に戸惑い、勉強と部活動を両立できるのか、違う小学校出身の人たちと仲良くできるのかなど、不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、そんな私も二年経った今では、楽しく充実した日々を送ることができています。一緒にいて楽しい友達・仲間、優しく尊敬できる先輩、かわいい後輩、親切な先生方、一生懸命取り組める部活動。加賀中学校は素晴らしい環境に恵まれた学校です。だからこそ、皆さんにはこの加賀中学校で充実した、かけがえのない三年間を過ごしてほしいと思っています。

中学校生活では第一に「勉強」が大切です。小学校とは違い、中学校では教科ごとに先生が変わります。また、一年生で学習したことが二年生の、二年生で学習したことが三年生の学習の基礎になります。内容も進級するごとに、難しさが増し、覚えることが多くなっていきます。また、中間テスト、期末テストといった大きなテストが一年間で四回あります。しかし、そんな大変な勉強も、一人ひとりが一生懸命に授業を受け、予習・復習・日々の宿題など、やるべき事をしっかりとやれば、授業内容の理解が深まり、勉強が楽しいものになっていきます。

次に「部活動」について紹介します。加賀中学校には現在14の部活動があります。部活動では友達、さらには上級生との絆や人間関係を深めることができます。もし壁にぶつかったとしても、仲間と共に全力で取り組んでいけば可能性が見えてきます。乗り越えられた時には大きな達成感を得られ、かけがえのない思い出となります。

いま私たちは大きな壁を前にしている状況ですが、そんな時こそ、今できることに一生懸命に取り組み、前向きな気持ちを持つことが必要だと思います。加賀中学校で、仲間たちと共に過ごせる日々が戻ってくることを信じて、私たちと一緒に頑張りましょう。

学校が再開した暁には、勉強に、部活動に、行事に、全力で取り組んでみましょう。すると自然と、毎日の学校生活が楽しく充実したものになってくるはずです。どうか、この加賀中学校で、最高の仲間と共に、一生の思い出に残る三年間の中学校生活を送って下さい。

令和二年五月八日

在校生代表 藤中 咲紀

## 『祝辞』

新入生の皆さん、加賀中学校ご入学、誠におめでとうございます。PTAを代表しまして、心よりお祝い申し上げます。

さて、四月の入学式の時期はすでにすぎ、今や五月。すっかり夏めいてきましたね。新しい制服のジャケットは、秋まで出番がないかもしれませんね。ドキドキのクラス割りや手紙での発表でした。新しい友達ができるか、部活はどうしようか、中学の勉強は難しいだろうかなどと、「不安」だったり「楽しみ」だったり、いろいろな気持ちがまざっていることでしょう。

私の遠い記憶では、中学校の三年間はあっというまでした。ただ、高校、大学、あるいは社会人へと続く、ものすごく大事な準備期間であったなど、今は思うのです。ですから皆さんには、失敗してもよいので（成功しなくてもよいので）、この三年間でいろんなことにチャレンジしてみしてほしいと思います。というのも、大人になればなるほど「失敗」に打たれ弱くなっていくことが多くて、今のうちに失敗の経験をしておくと、財産になりますよ。常に前向きに、そんな気持ちで進んでほしいと思います。

皆さんもご存じの通り、新型コロナウイルスの流行で、世の中はたいへんな状況です。学校の先生方は、どうしたら皆さんに安全に学んでいただく場を提供できるか、手探りで日々検討を重ね、大変なご苦勞をされているはず。何が正解なのか、どこかゴールなのか、大人だってわからないんです。でも、君たちの「学び」を大切に思ってくれている人たちがたくさんいる、そのことは知っていてほしいし、そのことに感謝する気持ちをもってもらえるといいなと思います。

お説教のような話になってはいけませんが、大変な状況になっている今だからこそ、いろんなことが支えあって成り立っているということを、少しだけ頭のすみに置いておいてください。そして、世界で起きていることを、大人たちの姿を、君たちなりに、しっかりと見ていてほしいと思います。

「当たり前の毎日」が、実は「当たり前じゃないんだ」ってことに気がつけたら、いろんなことが違って見えてきます。東京大学の総長が「今回の新型コロナウイルス感染症の克服は、人類全体にとって大きな挑戦です。」と語っています。大きさに感じるかもしれませんが、この苦難を克服した先には世の中の常識やシステムが変わり、新しい時代につながるのではないかなと思っています。

最後に、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。私も、皆様と一緒に今年度より、この加賀中学校に保護者、そしてPTA役員としてかかわらせて頂くことになりました。このような情勢下で色々な難しい問題も出てくるかと思いますが、是非一緒に解決をしていければと思っています。よろしくお願い申し上げます。

二〇二〇年五月

板橋区立加賀中学校PTA会長 藤原 康俊



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。加賀中学校は環境にも恵まれ、何事にも一生懸命取り組む思いやりのある生徒達、生徒一人一人のことを大切に考える熱心な先生達加賀中のことを愛して応援してくださる地域の方々皆で、「良い学校を創ろう！」と頑張っています。皆さんも一緒に最高の加賀中学生生活を創っていきましょう。



Kaga junior high school  
60th Anniversary

